



年次報告書 2013

会員を募集しています

CYRは、私たちと一緒に活動を支援くださる方を募集しています。
年会費：10,000円（学生 3,000円 / 団体 30,000円）

ご寄付のお願い

幼い難民を考える会は、2006年3月1日より認定NPO法人に認定されました。これは、組織運営・事業活動が適正であるとして所管庁が認定するものです。認定NPO法人に対するご寄付は、相続財産のご寄付を含め、**税制優遇措置の対象**となります。

年次報告書2013
発行日：2013年6月
発行人：深水 正勝

■ 東京事務局
〒112-0013
東京都文京区音羽1-10-4 池田ビル3F
TEL: 03-3943-6971
FAX: 03-3943-6973
Email: info@cyr.or.jp
URL: <http://www.cyr.or.jp>

幼い難民を考える会(CYR)は、難民となったカンボジアの子どもたちがけんめいに生きようとする姿に触発され、1980年に設立されました。子どもたちが心身ともに健全に成長し、その親たちが人間らしい生活環境のもとで自立できることが、難民を出さない平和な社会につながることを信じ、復興をめざすカンボジアで活動を続けています。その経験を、東日本大震災の被災地支援活動でも活かしています。

■ プノンペン事務所
CYK (Caring for Young Khmer)
#170 St. 63 Boeung Keng Kang I,
Khan Chamkar Mon,
Phnom Penh, Cambodia
TEL: +855-23-210849
Email: CYKPP@online.com.kh
URL: <http://www.cyk.org.kh/>



5歳の笑顔が、未来をつくる

幼い難民を考える会、その原点「カオイダン難民キャンプ」から33年。
掲げる「理念」は、私たちの活動の根幹として変わることなく受け継がれている。

Children, Our Future

今日の子どもの幸せが、明日の平和な世界へつながります。

1980年、内戦により難民となったカンボジアの子どもたちが、
タイ国境の難民キャンプの恵まれない環境のなかで、
少しでも人間らしい環境と必要な配慮のもとで暮らせるようにとの願いから、
幼い難民を考える会(CYR)の活動は始まりました。

難民キャンプ閉鎖後は、復興をめざすカンボジアの農村で、
子どもたちが安心して暮らせる環境づくりと
女性の自立を支援する活動に取り組んでいます。

会の名前を「難民の子ども」ではなく「幼い難民」としたのは、
子どもという独立した人格を尊重する立場から
子どもたちの成長が守られて初めて、
祖国を逃れてきた人たちの、
あるいは、その国の自立の問題に結びつくと考えたからです。

また、「考える会」としたのは、
助けるという意識がしばしば相手の自立を侵したり、
相手を管理する態勢に陥りがちであることを認識し、
難民問題をいろいろな側面から考えていきたいという
会の基本姿勢に根ざしています。

私たちはこれからも、さまざまな理由により
厳しい境遇に置かれている子どもたちの健全な成長を支援し、
その保護者たちが人間らしい生活環境のもと自立できることをめざして
ひとつひとつの小さな積み重ねを大切にしていきます。
そのことが、難民を生み出さない、
明日の大きな平和を創る力となることを、信じています。



特定非営利活動法人
幼い難民を考える会

代表理事 深水 正勝

年次報告書をお送りする時期になりました。

率直に言って、私の役割は、皆さんを励ましなが、運動を維持、推進するということに尽きると思いますが、さすがに元気な私にもこの数年は、厳しい現状を目の当たりにして、明日への希望の道が見えてきません。長い間には、こんなこともあると、明るく考えることも一理あります。せっかく、カンボジアの人たちの動きが感じられ始めてきている時期です。私たちの中では、スタッフの皆さんの置かれている状況も厳しく、退

職される方が相次ぎます。そのような状況の中で唯一、私たちを支えているのが、ボランティアの皆さんの活動です。

そうした活動の詳細は、なかなか年次報告などでは見えにくいものですが、この数年のボランティアの皆さんのサポートは、現在の会の活動を、精神的、実質的に支えてくださる強い存在です。

改めて、ボランティアの皆さまに心から感謝を申し上げたいと思います。

深水正勝

目次

2012年度の活動

【カンボジア】

保育事業	3
織物事業	3

【日本】

東日本大震災被災地支援事業 他	4
会計報告	5-6

2013年度の活動

事業計画	7
予算	8

わたしたちの支援者	9
-----------	---

わたしたちの組織	10
----------	----

保育事業：活動を通じて、子どもたちのすこやかな成長をはぐくむ

農村の2保育所、自主運営に向けて

1991年にスタートした活動は、地域住民と保育者の努力で、自主運営への道を着実に歩んでいます。カンボジアでは珍しい1日保育の実施とカリキュラムの体系化を実現し、モデル保育所を目指しました。(カンダール州)

僻地公立幼稚園の研修・教材配布を継続

支援が届きにくい僻地州では、教材・遊具は不足しても、保育者たちは意欲的。2012年は、174人を対象に保育者研修と教材配布を実施しました。(バンテアイミエンチェイ州)

スラムの保育所運営協力

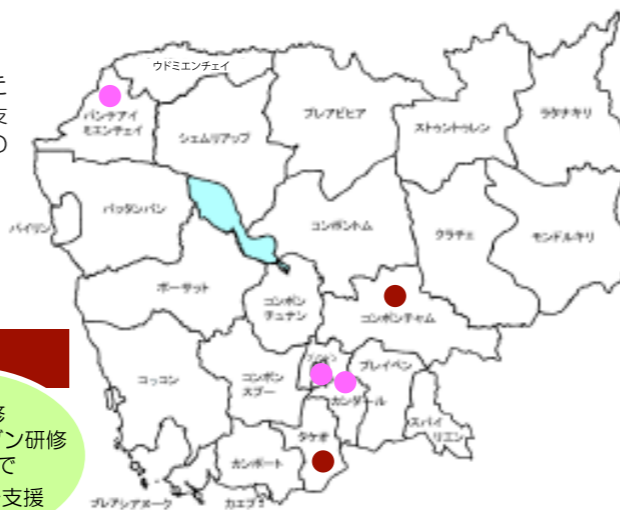
首都プノンペンに点在する数多くのスラム。劣悪な生活環境におかれていた子どもたちが、少しでも健やかに成長し保育の機会を得られるよう、計7カ所の保育所に補助給食(豆乳・ゆで卵)と運営支援を行いました。(プノンペン市)



「村の幼稚園」から、初卒園児

2011年10月にCYRが開園した「村の幼稚園(午前保育で補助給食を支給)」2カ所。2012年8月、初めての卒園児が巣立っていきました。(カンダール州)

・支援しました・
子ども 9,287人
保育者 315人
施設 222カ所



織物事業：伝統織物の技術を伝え女性の自立を支える

自然と伝統を生かして女性の生活向上を

巡回研修
草木染め・ピダン研修
藍染研修で
129人 を支援

2003年に開設した織物研修センターを拠点に、<草木染め>と<ピダン*>の研修コースを実施。古来から使われている染め材による天然染色は技術が進み、高品質の製品を安定的に提供できるようになりました。ピダン研修には4人が参加。3カ月間徹底研修した結果、芸術性に優れた作品が仕上がりました。(タケオ州)

*ピダン=伝統的絹絵紺

農村の織り手の技術向上のため

農業のかたわら機を織る村の織り手は、貴重な存在。センターでの研修を受ける機会のないこうした織り手の要望に応え、延べ112人を対象に、新しい図柄を学ぶ巡回研修を実施しました。(タケオ州)



藍染技術の確立をめざして

藍染織専門家2名を沖縄より招き、<泥藍(=染料)>づくりと染めの技術確立に励みました。藍葉が自生するアンコールバーン村で10人の家族とグループを対象に、実地研修と課題の検証を行いました。(コンボンチャム州)



東日本大震災被災地支援事業：被災地の復興と生活再建のために

子どもたちが日常を取り戻すために

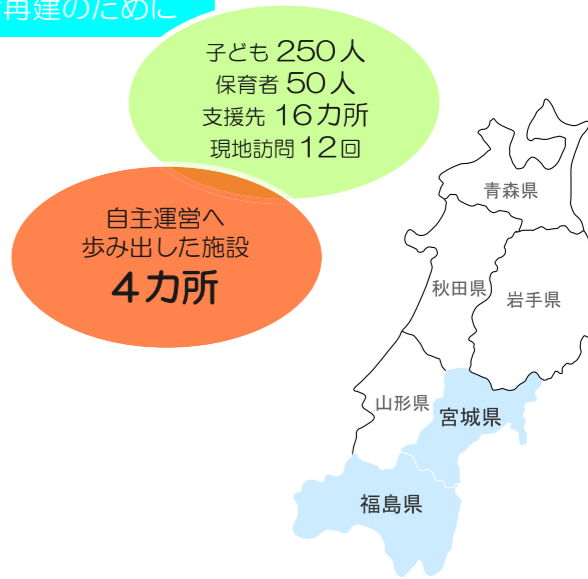
前年度に引き続き、子どもたちの日々の保育の充足を目的に、教材・遊具・学習用具を届けました。2012年度は、より具体的な支援を心がけ、各保育施設・グループの要望に応える物品を選びました。計12回の現地訪問を通じた保育担当者からの聞きとりや、現場の状況を見て、支援内容を決めました。(16施設)

保育環境の改善と保育者の生活再建を支える

子どもたちが一日の大半を過ごす保育の場。その場所が安心・安全そして楽しくあるように、施設にかかわる費用や飲料水代等を支援しました。また、厳しい状況で懸命な保育を行っている保育者の負担が、少しでも軽減されるように、人件費の支援を行いました。(7施設)

卒園と入学を祝って

子どもたちが、つがつがなく小学校に入学できるよう、卒園児に支援金を支給しました。(14人)



任意団体「幼い難民を考える会 あいち」の活動

- ◆「みんなで布チョッキン」 18回実施
- ◆ JICA 中部写真展
- ◆ 東日本大震災被災地支援活動報告展
- ◆ 国際協力企画体験講演会・ワークショップ実施

活動全般を通じて、NGO活動・国際協力に対する関心の喚起に努めました。

※ ご協力、ありがとうございました ※

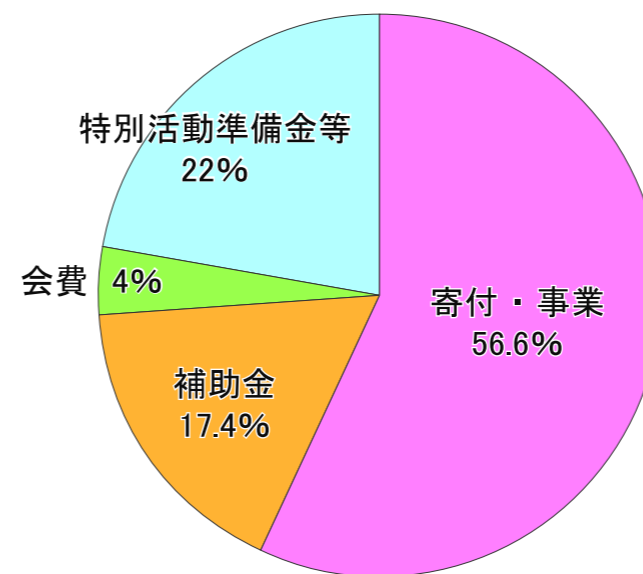
【活動計算書】

2012年 4月 1日 ~ 2013年 3月 31日 まで (単位:円)

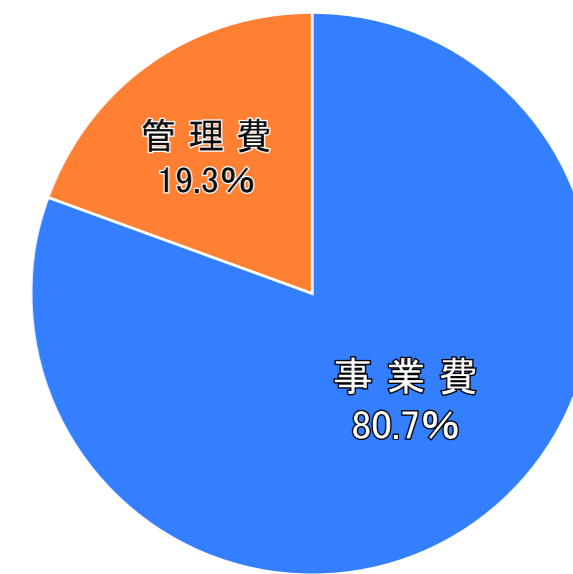
科目	金額	
(一般正味財産増減の部)		
I 経常収益		
1. 会費収入		2,802,600
2. 寄付収入		33,457,445
3. 事業収入		10,416,467
4. 補助金収入		13,520,068
5. 売上値引高		△ 457,225
6. その他収益		655,117
経常収益計		60,394,472
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
事業人件費	37,504,320	
人件費計	37,504,320	
(2) その他経費		
印刷費	952,059	
研修費	16,475,227	
施設費	7,598,711	
保育給食費	1,165,017	
会議渉外費	195,355	
旅費交通費	2,343,719	
通信運搬費	1,673,819	
奨学金	2,800,000	
販売関連費	897,698	
備品消耗品費	1,696,772	
支払手数料等	201,488	
車両費	557,309	
賃借料等	2,385,437	
材料費	1,353,637	
製作費	2,233,390	
租税公課	11,900	
減価償却費	304,135	
その他経費計	42,845,673	
事業費計		80,349,993
2. 管理費		
(1) 人件費		
管理人件費	12,459,331	
人件費計	12,459,331	
(2) その他経費		
印刷費	28,278	
研修費	5,000	
会議渉外費	268,098	
旅費交通費	462,160	
通信運搬費	387,770	
備品消耗品費	1,391,816	
支払手数料等	530,893	
賃借料等	3,195,332	
専門家相談料	130,666	
租税公課	109,900	
減価償却費	105,000	
補助金返還額	126,248	
その他経費計	6,741,161	
管理費計		19,200,492
経常費用計		99,550,485
III 経常外収益		
1. 特別活動準備金より繰入		17,000,000
経常外収益計		17,000,000
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		△ 22,156,013
法人税、住民税及び事業税		70,000
前期繰越一般正味財産額		36,535,761
次期繰越一般正味財産額		14,309,748
(指定正味財産増減の部)		
前期繰越指定正味財産(特別活動準備金)額		49,000,000
一般正味財産への振替額		△ 17,000,000
次期繰越指定正味財産額		32,000,000
次期繰越正味財産額		46,309,748

決算レート: \$1=95.05円 (2013年3月29日 三菱東京UFJ銀行TTS) \$1=4,000リエル

【収入】



【支出】



【貸借対照表】

2013年 3月31日現在

(単位:円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	51,113,248	
売掛金	449,492	
棚卸資産	78,678	
その他流動資産	1,936,919	
流動資産合計		53,578,337
2. 固定資産		
有形固定資産	466,181	
無形固定資産	105,000	
敷金	828,571	
固定資産合計		1,399,752
資産合計		54,978,089
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払費用	220,042	
預り金	1,119,756	
流動負債合計		1,339,798
2. 固定負債		
退職給与引当金	7,328,543	
固定負債合計		7,328,543
負債合計		8,668,341
III 正味財産の部		
1. 一般正味財産		
前期繰越一般正味財産	36,535,761	
当期一般正味財産増減額	△ 22,226,013	
一般正味財産		14,309,748
2. 指定正味財産		
前期繰越指定正味財産	49,000,000	
当期指定正味財産増減額	△ 17,000,000	
指定正味財産		32,000,000
正味財産合計		46,309,748
負債及び正味財産合計		54,978,089

決算レート: \$1=95.05円 (2013年3月29日 三菱東京UFJ銀行TTS) \$1=4,000リエル

【監査報告書】



カンボジア
保育事業

幼児期の重要性
理解をひろめる

農村の保育所運営

活動開始から22年目を迎え、自主運営に近づいています。特に給食食材の自給と子どもたちの栄養状態改善に注力します。

公立幼稚園・公立地域幼稚園支援

僻地ウドミエンチェイ州で公立幼稚園保育者研修と教材・翻訳絵本の配布を実施します。また、以前に研修を行った4州の公立幼稚園で技術が定着するための二次研修を、6州の公立地域幼稚園で研修と教材・絵本の配布を実施します。

スラムの保育所運営協力

7の保育施設を対象に、運営支援と補助給食支援を継続します。

新規「村の幼稚園」開設

ひとりでも多くの子どもが保育・教育の機会を得ることができるよう、2011年開設の2園に加え、新たな「村の幼稚園」を3園、タケオ州に開設します。

織物研修センター

従来のご草木染め>研修に加え、帯の織り手を対象に研修を開催。高品質の製品づくりのための技術指導を行います。

巡回研修

研修期間を10日に延長、40人を対象にきめ細かな技術指導を行います。

藍染技術研修

昨年度のご綿糸>染めから一歩前進、ご絹糸>染めを試行します。

製品づくり

日本企業の要望に応え、帯の製作に取り組んでいます。カンボジアと日本の伝統が融合した趣き深い製品づくりをめざします。また、日・カ友好60周年を記念したピダンの展示会を開催し、織物文化を広める機会の創出に努めます。

復興への長い道のり

子どもたちのための保育環境の整備は、保育者と保護者の願いです。しかし、なかでも震災で失った園舎の確保・再建は困難を極めています。日々の運営に手一杯の現場が、将来の計画を立てるゆとりを持つことができるよう、7施設に費用支援を継続します。

福島に状況を傾ける

分断されたままのコミュニティでは、震災で負った心の後遺症を癒すことが充分ではありません。子育てや保育に関する悩みの解消を目的とした支援に心を配ります。懸命に保育を行う保育所や、自主保育(=専門の保育者と保護者が協力して行う保育)の現場を定期的に訪れ要望を聞きとり、支援に活かします。震災の記憶を記録として留めるための文集づくりに協力します。

カンボジア
織物事業

高度な技術を
販売力に昇華

【活動予算書】

2013年 4月 1日 ~ 2014年 3月 31日 まで (単位:円)

科目	金額		
(一般正味財産増減の部)			
I 経常収益			
1. 会費収入		3,000,000	
2. 寄付収入		31,000,000	
3. 事業収入		10,000,000	
4. 補助金収入		15,000,000	
5. その他収益		200,000	
経常収益計			59,200,000
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
事業人件費	22,670,000		
人件費計	22,670,000		
(2) その他経費			
印刷費	1,800,000		
研修費	8,380,000		
施設費	1,750,000		
保育給食費	1,310,000		
会議渉外費	360,000		
旅費交通費	2,220,000		
通信運搬費	1,510,000		
奨学金	120,000		
販売関連費	390,000		
備品消耗品費	520,000		
支払手数料等	320,000		
車両費	640,000		
賃借料等	2,360,000		
材料費	1,430,000		
製作費	2,630,000		
減価償却費	310,000		
その他経費計	26,050,000		
事業費計		48,720,000	
2. 管理費			
(1) 人件費			
管理人件費	12,180,000		
人件費計	12,180,000		
(2) その他経費			
印刷費	10,000		
会議渉外費	280,000		
旅費交通費	320,000		
通信運搬費	370,000		
備品消耗品費	1,040,000		
支払手数料等	530,000		
賃借料等	2,840,000		
専門家相談料	400,000		
租税公課	180,000		
減価償却費	110,000		
その他経費計	6,080,000		
管理費計		18,260,000	
経常費用計			66,980,000
III 経常外収益			
経常外収益計			
IV 経常外費用			
経常外費用計			
税引前当期正味財産増減額			△ 7,780,000
法人税、住民税及び事業税			70,000
前期繰越一般正味財産額			14,309,748
次期繰越一般正味財産額			6,459,748
(指定正味財産増減の部)			
前期繰越指定正味財産(特別活動準備金)額			32,000,000
一般正味財産への振替額			0
次期繰越指定正味財産額			32,000,000
次期繰越正味財産額			38,459,748

予算レート: \$1=95.05円(2013年3月29日 三菱東京UFJ銀行TTS) \$1=4,000リエル

東日本大震災
被災地支援事業

心に寄り添う
3年目の支援

会員 (2013年3月末現在)

- 会員： 358名
 - 一般会員： 342名
 - 学生会員： 10名
 - 団体会員： 6団体

- 寄付者数： 1,398名

2012年度 補助金収入 (50音順)

- 株式会社フェリシモ基金事務局 740,000円
- 公益財団法人日本国際協力財団 1,044,400円
- 国際ボランティア貯金 4,031,000円
- 全日本自治団体労働組合福岡県本部 1,000,000円
- 日本労働組合総連合会「連合・愛のキャンパ」 2,000,000円
- Church World Service 4,704,668円


2012年度 寄付者

(10万円以上、50音順) ※個人を除く

- ILBS国際福祉協会
- あすてボランティア
- えん21
- 幼い難民を考える会チャリティ・バザーグループ
- 花王株式会社 / 花王ハートポケット倶楽部
- 学校法人青い鳥学園佐藤幼稚園
- 株式会社一五不動産情報サービス
- 株式会社フェリシモ基金事務局
- 株式会社ローソン
- CANTATE DOMINO
- グループ五つの星
- 公益財団法人あすて
- 公益財団法人三菱商事復興支援財団
- ゴールドマン・サックス
- Goldman Sachs & Co.
- 枝光会附属幼稚園
- 枝光学園幼稚園
- 宗教法人孝道山本佛殿
- 聖心女子大学同窓会宮代会
- 全国友の会
- 東京海上日動あんしん生命保険株式会社
- 東南アジア保育支援実行委員会
- 特定非営利活動法人WE21ジャパン厚木
- 特定非営利活動法人WE21ジャパンかながわ
- 特定非営利活動法人WE21ジャパン港南
- 特定非営利活動法人WE21ジャパンざま
- 特定非営利活動法人WE21ジャパンみどり
- 特定非営利活動法人遊閑ハピス
- ドシェーン会7回生有志
- 名古屋駅地区振興会
- 花まつりコンサート実行委員会
- 百観音明治寺
- 三菱商事株式会社
- レンドリース・ジャパン株式会社

みんなで布チョッキン (30グループ)

- MS&ADゆにぞんスマイルクラブ (東京)
- 三菱商事株式会社 (東京)
- 丸紅株式会社 (東京)
- おねぼうマルシェ (愛知)
- CITYグループ (東京)
- トウ・ソリューションズ (東京)
- 椋山女学園高等学校 (愛知)
- 名古屋外国語大学 (愛知)
- ゴールドマン・サックス (東京)
- 名古屋市男女平等参画推進センター (愛知)
- 愛知サマーセミナー実行委員会 (愛知)
- 北区東南アジア保育支援の会 (東京)
- 株式会社東京海上日動キャリアサービス 東北支社 (宮城)
- イー・アクセス株式会社 (東京)
- 聖心女子大学 SHRET 芽生えプロジェクト (東京)
- アクセンチュア株式会社 (東京)
- 一宮ローターアクトクラブ (愛知)
- 豊田市国際交流協会 (愛知)
- 熱田ローターアクトクラブ (愛知)
- 株式会社ジェーシービー 大阪支社 (大阪)
- 聖霊高等学校 (愛知)
- ワールドコロポフェスタ2012実行委員会 (愛知)
- 全日本自治団体労働組合神奈川県本部 保育集会 (神奈川)
- あすてあカンテ (愛知)
- 東京海上日動火災保険株式会社 名古屋自動車営業部 (愛知)
- 教覚寺 (静岡)
- レンドリース・ジャパン株式会社 (宮城)
- へきなん保育園 (愛知)
- 特定非営利活動法人 WE21 ジャパン旭 (神奈川)
- 慶應義塾高等学校 (東京)

 他、雑誌『いきいき』5月号での紹介をきっかけに、21都道府県、59名の個人の方よりご支援をいただきました。

手織り布製品販売 (全26件)

- 出張販売
 - 築地本願寺 花まつり (東京)
 - 百観音明治寺献灯会 (東京)
 - 横浜高島屋 (神奈川)
 - 孝道山 ピダシ展示会・大黒まつり (神奈川)
 - 「MCマルシェ販売会」
 - 「復興市クリスマス チャリティーバザー」

上記2件：三菱商事株式会社 (東京)

 - 上野教会バザー (東京)
 - 全日本自治団体労働組合神奈川県本部「保育集会」(神奈川)
 - パルシステム (東京)

他2件
- 委託販売
 - ゾナゾナクラブ 奈良町バザール
 - CYR-Aあいち フェアトレード
 - 秋田県国際交流をすすめる女性の会「わびえ」
 - あいち有松絞り祭
 - 椋山女学園大学
 - 有限会社アイ・エンタープライズ
 - 慶應義塾高等学校
 - 六本木教会


他7件

役員 (2013年3月末現在)

- 代表理事 深水 正勝
- 副代表理事 交野 政博
- 理事 高木 正彦
- 理事 田中 周子
- 理事 深津 高子
- 理事 松岡 玲子
- 理事 山田 暢子
- 理事 吉川 健治
- 監事 大川 晴一郎
- 監事 鈴木 雅博

職員 (2013年3月末現在)

東京事務局：3名(事務局長 峯村 里香)
カンボジア事務所：12名(うち、日本人2名)

 2012年度CYRの活動は、延べ595人のボランティアに支えられました！

アドバイザー

上田 広美 (東京外国語大学准教授)
岡田 知子 (東京外国語大学准教授)

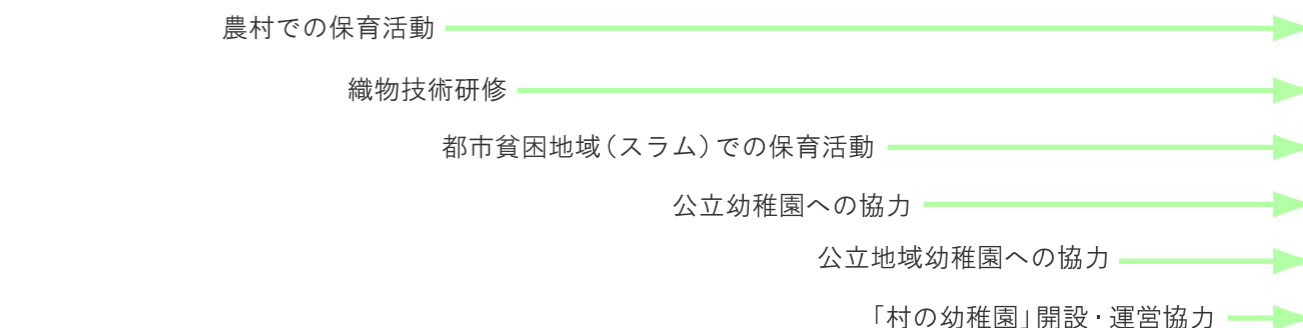
活動履歴

1980 '85 '90 '91 '95 '00 '05 '10 '11 . '13

タイ



カンボジア



日本

